

一般質問

加藤議員

その他の質問
・子どもの医療費助成の拡大を
・消防団の充実・強化について

介護保険料値上げと報酬引き下げについて

Q 質問

平成27年度から29年度までの65歳以上の介護保険料が基準月額で5,300円から5,900円に値上げが予定されている。

①介護保険料値上げを軽減するため、一般会計からの繰り入れを行うべき。

②特別養護老人ホームには介護報酬を6%も引き下げるが、施設の運営と経営に大きな打撃にならないか。

A 答弁

①一般会計からの繰り入れについては、被保険者間の公平性の確保や、健全な介護保険財政の運営と財政規律の保持の観点から適当ではないと考えられるため、今回の制度改革に伴う低所得者対策のための国からの補助の繰入のみ行いたいと考えている。
②認知症の方の積極的な受入れを行う場合や中重度者の受入れ評価等の新設加算の拡充はされており、市としても総合事業における単価設定の際には、事業所側の経営悪化に繋がらないように、加算も含めた基準額を慎重に検討していく。

教員の健康管理について

Q 質問

文部科学省の92万人を対象にした公立学校の教員調査で、うつ病などの精神疾患が病気を休職者の6割に達している。

①勝山市の実態はどうなっているのか。

②長時間勤務の是正にどう取り組むのか。

③メンタルヘルスの相談窓口の設置・充実が必要と思うがどうか。

A 答弁

①勝山市における教員の病気休暇・精神疾患の実態については、過去5年間における教員の病休者は平均0・58%、そのうち精神疾患による休職者は平均0・35%で推移している。

②市ではこれまで、全小中学校が校務内容を見直し、効果的な学校運営を目指して努力しているところだが、今後も改善に努めていく。
③身近な相談窓口の設置は有効ではないかと考えるため、今後研究していきたい。

下道議員

その他の質問
・市内の観光施設割引入場券付きの「名刺」を導入することについて
・プレミアム付き商品券発行事業について
・薬物乱用防止対策について

地域住民生活等緊急支援のための交付金について

○結婚相談事業について

Q 質問

きっかけがたくさんあれば、そこからチャンスが生まれる。「地域おこし協力隊」の方にも応援してもらい、「田舎暮らし体験事業」の中で、農業に興味のある女性に、実際に農業体験をしてもらう「婚活ツアー」を企画してみないか。

A 答弁

「結婚相談事業」の婚活イベントと「田舎暮らし体験事業」は事業目的自体が違うことと、そして、参加者にとってそれぞれ参加目的が違うことから、合同でイベントを実施することは難しいと思われる。

しかし婚活イベントは、体験型のイベントが効果的であると考えており、今年度実施したイベントでも、牧場でのバター作り、野菜の収穫体験、その野菜を使った夕食作りなど、生活に密着した体験をとおして男女の交流を実施しておりますので、今後も農業体験と連携したイベントも含めて実施してまいります。

勝山市の農業について

Q 質問

①中山間地域である勝山市においては、集約化や大規模化は、難しいと考えるが、この政策に対する市の考えを伺う。

②農業法人・営農集団・認定農業者には、国の機械購入補助支援がある。個人農家にも、市独自で機械購入補助金を設けてはどうか。

A 答弁

①勝山市では農作業効率が悪しい傾斜地や区画面積が狭い農地を無理に手放すように求めるのではなく、地域の合意に基づき地域の中心となる経営体（担い手）の育成を図ると共に、地域農業が維持されるよう、農地中間管理事業をはじめ様々な支援策を総合的に講じていくこととしている。

②中山間直接支払制度などの交付金は担い手に限定したのではなく、農業機械の購入に充てることは可能である。農業の構造改善を図る上で、担い手以外の農業者への農業機械購入助成を優先的に行うのは難しいが、集落機能維持のためにどのような支援が可能か、今後さらに検討していきたい。

